

鹿生協第 18 号
2024 年 7 月 1 日

学 校 長 } 殿
消費者教育担当者 }

鹿児島県学校生活協同組合
理事長 中川路 守
(公印省略)

明治安田生命の「金融・保険教育（出前授業）」について（依頼）

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、「グループ保険」「きずな」の引受会社である明治安田生命から、「金融・保険教育（出前授業）」のご提案がありました。

同社は、環境保全やこどもの健全育成など、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献する社会貢献活動を「未来世代応援活動」として推進しており、その具体的な取組みのひとつが「金融・保険教育（出前授業）」となっており、昨年度は鹿児島県下 6 校の公立学校で実施し好評をいただいております。

これからの「人生 100 年時代」において、子どもたちが心身ともに豊かに生きていくためには、自助努力で将来に備えるための金融リテラシーがいっそう重要であることは言うまでもありません。

同社のこの取組みは、社会保障を補完する役割を担う生命保険会社として、自助の必要性やその方法等を伝えていくことで、子どもたちの豊かな人生を応援し、また、持続可能な社会づくりの役に立ちたいとの考えに基づくものです。学習指導要領にも準拠した内容となっておりますので、ぜひご活用を検討いただければと存じます。よろしくお願いいたします。

敬 具

【申込方法（照会先）】

以下の宛先までメールにて、学校名、ご担当者さま、連絡先、開催希望時期をご連絡ください。明治安田生命担当者より、ご担当者さま宛に折り返しご連絡があります。

・明治安田生命保険相互会社 鹿児島支社 松村 TEL：099-223-6219

Mail：ya-matsumura@meijiyasuda.co.jp

南九州公法人営業推部 本田 TEL：096-325-7754

Mail：ma3-honda@meijiyasuda.co.jp



当社は文部科学省が推進する
「土曜学習応援団」に賛同しています

明治安田

明治安田は、サステイナブルな社会づくりに貢献するため、将来を担う子どもたちの健全育成に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

「人生100年時代」を生きる子どもたちに伝えたい
お金のこと、保険のこと

金融・保険授業

子どもたちが生きる将来は、どんな未来でしょうか。「人生100年時代」がくるといわれるからこそ、自身を守る正しい「お金」と「保険」の知識と、心身ともに豊かに生きていくことを明治安田の従業員がお伝えします。



生活に深くかかわる「お金」と「保険」を学びます

リスクを学ぶ

長生きのリスクとは？など、人生におけるリスクを学びます

保険を学ぶ

シミュレーションを通じて保険の仕組みを学びます

お金の運用を学ぶ

貯蓄や投資など、人生100年時代に必要とされるお金の運用を学びます

教材イメージ



明治安田の従業員が講義します！ 授業方法等ご相談ください

明治安田の従業員がわかりやすく講義します。時間や場所などご相談ください。

対応するSDGs目標について

3 すべての人に
健康と福祉を



リスクを知り、備えることが、心身ともに豊かに生きていくことにつながります。

4 質の高い教育を
みんなに



将来、自分らしく生きるための正しい「お金」と「保険」の知識を知る機会を提供します。

ひとに健康を、まちに元気を。

ブランドサイトでは、明治安田の取組みをご紹介します。
<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/>



明治安田

〒100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
TEL03-3283-8111 (代表)
<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

担当者

明治安田生命保険相互会社
鹿児島支社 松村
TEL：099-223-6219
meil：ya-matsumura@meijiyasuda.co.jp

南九州公法人営業推進部 本田
TEL：096-325-7754
meil：ma3-honda@meijiyasuda.co.jp
お電話、メールでお問い合わせください。

1. 出前授業の内容

- 高校生、中学生、小学生を対象に、「人生100年時代の『自助』」をテーマに、「お金」と「保険」について、クイズなどを交えながらわかりやすく説明します。

1

人生100年時代の「リスク」について

長い人生のなかで待ち受ける「リスク」を知ること、なぜ自助の備えが必要なのか学びます。

2

「保険」の仕組みについて

リスクに備える一つの方法として、相互扶助の制度である「保険」の仕組みを学びます。身近に感じられるよう、クイズやシミュレーションを用いながら解説します。

3

「お金」の運用について

貯蓄だけではなく、「投資」の考え方を学びます。

普段、あまりなじみのないテーマである
「民間の保険」や「投資」の領域をカバーします

(ご参考)教材例

クイズ 1

Q (問題)

私たちが生きていくうえで待ち受ける大きなリスクは、「万一のリスク」「病気やケガのリスク」「障がい・介護状態のリスク」「○○○のリスク」といわれている

〇〇〇に入る言葉を考えてみましょう！

「病気・ケガのリスク」を例にシミュレーションしてみましょう

例) 社会人1年目のAさんとBさんが、親戚で入籍してしまつたとき

AさんとBさんは社会人になって4ヵ月たちました。Aさんは保険には加入せず、毎月1万円ずつ貯蓄してしまつた。Bさんは保険に加入しており、毎月1万円の貯蓄から、月3,000円の保険料を払っています。

保険に加入なし	保険に加入あり
月々の収入: 18万円 月々の貯蓄: 1万円 月々の保険料: なし	月々の収入: 18万円 月々の貯蓄: 7,000円 月々の保険料: 3,000円 年払いの保険料: 一括で支払う必要あり
貯蓄: 4万円	貯蓄: 2万円
病気から4ヵ月間休職したが、2万円貯蓄してしまつた	保険会社から受け取った5万円と、貯蓄から1万円を払いました
貯蓄: 4万円	貯蓄: 1万円
貯蓄: 0円 かつ、2万円不足	貯蓄: 1.8万円 貯蓄が足りなくなりました

「貯蓄」と「保険」をバランスよく準備することで皆さんは出費を出さず済みました

コラム 親戚の同居は、加入社員のみなさんで、上掲したとおり「障がい」の用に、アンケート調査を実施しています

2020年10月1日開始の「新NISA」は、投資のしやすさから、多くの方が参加されています。2020年10月1日開始の「新NISA」は、投資のしやすさから、多くの方が参加されています。2020年10月1日開始の「新NISA」は、投資のしやすさから、多くの方が参加されています。

当社は、文部科学省の「土曜学習応援団」に賛同し、登録しています

「土曜学習応援団」とは

文部科学省が、子供たちの豊かな学びを支えるため、多様な民間企業・団体等から提供された教育プログラムの情報を集約して、学校や教育委員会等で実施することを推進している取り組みです。

<詳細は以下文部科学省HPをご確認ください>

・当社紹介ページはこちら

https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_program/detail/003182.html

2. 当日の進行について

- 当日は、明治安田の従業員が進行・講義します。

当日の進行例（30～45分）

項目	備考
事前準備 （数分）	<配付物> ①教材：人数分印刷して持参します ②アンケート：人数分印刷して持参します
講義 （20～30分）	教材に沿って、明治安田の従業員が講義します
質疑応答 （5～10分）	みなさまの質問に回答します
アンケート記入・回収 （数分）	無記名のアンケートです。今後の授業内容の改善に活用させていただきます
終了	

これからの人生の「お金の使い方」を考える機会として、ぜひお役立てください